

寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	島根半島四十二浦巡り再発見研究会
テーマ名	寄付者設定テーマ事業
事業名	鹿島町御津小島さん展望場美化事業
事業費(うち助成金額)	200,000 円
ネーミングライツ(該当があれば)	※NPO活動推進室記載箇所



■事業目的 (250文字程度)

御津漁港の東側北端に御津漁村公園が整備されていて、四十二浦巡り 22 番御津神社の境外社天照大御神と須佐之男命にちなむ三女神が祀られている小島さんを遙拝することが出来ます。御津海岸は新たに島根半島・宍道湖中海ジオパークのジオサイト生痕化石が指定されて訪問者の増加を想定し、安全を確保するため、雑草の繁茂を抑制してイノシシ等害獣との接触を避けるように環境整備を行い、安心な展望場にする必要があります。また、少子高齢化のため、労力を必要とする作業が地域にとっては大きな負担になっていることを理解し、島根半島の浦々の守るべき名所を地域外の人々にも理解して頂く必要があると考えました。

■事業内容 (350字程度)

展望場は、草木が繁茂して害獣の生活圏が増加することを防ぐため、刈払い機で、雑草を刈りこみ、個人所有地ととされる隣地の雑木を枝打ちし、全体として風通しを良くする作業を計画しました。

展望場内の草抑えに、より効果のある竹材チップ等をトラックで搬入するために、運行を妨げる公園内の樹木の枝を、松江市の許可を得て、チェーンソーで切り落としチップの材料として引き取って頂いた。

竹材チップ等 16 m³を猫車で運搬し、いしみによりチップが深さ 8cm になるように現場指導者が確認しながら手作業敷設を行った。また、此処が住民のための公園であり、水遊びなど楽しむ場所であることを確認し、奥に小島さん展望場があることを指し示す看板「御津漁村公園 小島さん展望場」を設置した。

■事業成果と今後の展望 (450字程度)

小島さん展望場には 10 年前にジオパークとして紹介し、生物が這って歩いた痕跡を残す生痕化石が出土し、またわが国が大陸から分離した証拠となる有名なジオサイトであり、島根大学など有識者が中心となってジオパーク看板第 1 号が設置されていました。しかし、その後忘れ去られて、草生す中に放置されていました。地元からはこの看板の撤去の声が上がる等の状況になっていました。

このため、出雲国ジオガイドの会、島根大学ジオパーク学の教授・大学院生、研究会員等 15 名が参加して、小島さん展望場のイノシシ等害獣の危険を除去すべく、美化作業を実施しましたが、この環境を維持すること、及び生痕化石ジオサイトが正式に認定されたので、浦巡り、ジオツアーのために、すでに展望場訪問のための駐車場利用スペースの利用許可も得ているので、浦巡り 22 番御津神社の小島さん及びその伝説を地域内外の訪問者に伝えたいと思います。また小島さん展望場が案内すべき名所され、美化意識が永く継承されるよう尽力したいと思います。